



APV1900/APV2900

Array APV1900/2900 特長

○ サーバサイド

■ 多機能なサーバ負荷分散

ラウンドロビン、リストコネクションをはじめとした多数のアルゴリズムがプリセットされています。Cookieベースのパーシステント、Cookieの付与、上書きなどもサポート。負荷分散ポリシーのネスティングもGUIから設定でき、高度なアクセス制御も簡単に実現できます。

■ 強力な性能のSSLオフロード

SSLアクセラレータを搭載(Eモデル)は、ECC方式に対応、高性能なSSLオフロード処理が可能です。サーバの負荷軽減と証明書の一元管理も可能にします。

■ HTTP/2プロキシ

サーバが“HTTP1.1”のままでもAPVがプロキシとして動作し、“HTTP/2”によるサービス提供を可能にします。※SSLオフロードと併用が必要です。

■ コンテンツ・キャッシュ

サーバが“HTTP1.1”のままでもAPVがプロキシとして動作し、“HTTP/2”によるサービス提供を可能にします。※SSLオフロードと併用が必要です。

■ SNIサポート

SNI(Server Name Indication)をサポート。複数「ドメイン名」のHTTPSサイトを1台のAPVと1個のグローバルIP集約できます。

■ バックエンドSSL

サーバが“HTTPS”でサービス提供時にもSSLもオフロードできます。※SSLトラフィックに対して使用する場合には SSLオフロードとの併用が必要です。

○ 管理・運用

■ 日本語GUI/業界標準CLI

■ スクリプト不要

あらかじめポリシーがOS上にプリセットされており、APVプリセットの組み合わせで、殆どの要件には対応が可能、それによりパフォーマンスへの影響が少ない。

■ Visualization強化

GUI画面/大画面対応

■ APIによるクラウド連携

RESTful-APIやXML-RPCに対応、外部からの制御が可能です。ADCやSSLアクセラレーションをサービスシステムに組込可能です。

また、OpenStack LBaaSのドライバも提供されています。オーケストレータから、負荷に応じたサーバ増減の自動制御なども実現できます。

■ SPANポート機能

■ ELK対応

ELKサーバ(Elasticsearch、Logstash、Kibanaの頭字語)がAPVアプライアンスのログサーバとして構成されている場合、APVは必要なログをELKサーバに送信、ELKサーバは提供されたログを使用してアプリケーションデータを管理および監視インターフェイスにグラフィカルに表示します。

○ クライアントサイド

■ SSL Interception

SSLトラフィックの「見える化」クライアントからのSSLトラフィックを平文に変換した上でセキュリティデバイスに転送。常時SSL化時代にも、セキュリティデバイス機能と性能を最大限に引き出します。※オプションライセンスが必要となります。

■ WebAgent(Webプロキシ)

WEBアクセストラフィックに対するプロキシ機能を装備。URLベースアクセスポリシー実行とDNSキャッシュを提供。

○ ネットワーキング

■ DR対策GSLB(サイト間分散)

複数サイトにサービス環境を配備し冗長化を図ることはもはや常識です。適切なサイトにアクセスを誘導することは、ピーク時対応にも繋がります。権威DNSとして動作し、クライアントからのDNSリクエストに対し、応答として適切なサイトを知らせることで、サイト間のアクセス分散や冗長化を実現します。※オプションライセンスが必要です。

■ リンク負荷分散(LLB)

コストパフォーマンスに優れた回線を複数敷設し、負荷分散が可能。

■ L2ブリッジ IEEE 802.1D 透過ブリッジング

■ Segmentation Management

セグメント単位で、管理者や読取専用ユーザなどの様々な権限を設定することが可能です。単一セグメントの管理者として割り当てられたユーザは他セグメントに対する権限を持たないため、セキュリティを確保したマルチテナント環境を提供できます。

■ VXLAN対応

P2MPとmulticast 2つの動作モードをサポートします。

○ セキュリティ

■ DDoS防御機能

アプリケーション、セッション、ネットワークの各層において異常なトラフィックが検知された際の、防御や記録のメカニズムを提供。

■ SAAアプリケーションアクセス認証

APVの仮想サービスにアクセスする際に、外部基盤と連携した認証や認可を提供することもできます。SAML 2.0、OAuth 2.0フェデレーションプロトコルをサポートします。

■ SSL脆弱性への耐性

SSLコンポーネントを独自にビルドしたArrayOSは、OpenSSLを組込んだ他社製品と比べ、脆弱性に該当する割合が非常に少ない(約3分の1程度)という統計結果もあります。もちろん脆弱性に該当した場合の対策も迅速に提供致します。

■ Deep Packet Inspection (DPI)実装

■ Website classification機能

ローカル・キャッシュ、ローカル・データベース、“Webroot BrightCloud(オプション)”サーバへのオンライン接続を介してWEBサイトのカテゴリをルックアップします。

■ TLS1.3強化

Array **APV**シリーズ
スペックシートAPV1900/APV2900シリーズ

シリーズ名	APV1900				APV2900	
	APV1900		APV1900E		APV2900	APV2900E
	AW210040J	AW210042J	AW210041J	AW210043J	AW210050J	AW210051J
■インターフェイス						
1GE(copper)内蔵型	6	6	6	6	6	6
1GE(copper)スロット		4		4		
10GE(SFP+) SPF+付属	2	2	2	2	6	6
■性能						
L4 Throughput (Gbps)	10				20	
SSLハードウェア処理	搭載				搭載	
SSL Throughput (Gbps)	7				10	
SSL RSA TPS (2K Key)	20K				20K	
SSL ECC TPS (ECDSA-P256)	14K				14K	
■ハードウェア仕様						
CPU	4core				4core	
メモリ	16GB				32GB	
DISK	1TB SATA SSD					
FAN	3 FAN					
ラックマウント・サイズ	1U					
本体外寸(WxDxH) [mm]	438 x 456 x 44(17.52 "x 18.24" x 1.76")					
電源(デュアル電源標準装備)	300W Redundant PSU					
重量	8.4Kg(18.4lbs)					
推奨環境	Temperature: 0 ~ 40°C, Humidity: 20 - 90% RH (No Condensation)					
保管環境	Temperature: -10 ~ 70°C, Humidity: 5 - 95% RH					
消費電力(W)	66-84					
BTUs/Hour (100V) Idle	218-286					
■ソフトウェア機能						
仮想サービス	Transparent Proxy, Reverse Proxy, HTTP RequestsのHTTPS Redirection, Serviceごとのデータ圧縮, SNI(Server Name Indication)					
負荷分散方式	Least Connections, Shortest Response Time, Round Robin, Weighted Round Robin, Priority Based, Client Network Persistence (Hash IP), Persistent/Constant Hash IP, QoSURL/Cookie/Hostname/Network/Network + Port Range/Client Port, Insert Cookie, Rewrite Cookie,Persistent Cookie, Persistent URL, Persistent Hostname, Hash Cookie, SNMP CPU/Mem/Custom, Hash Header, SSL Session ID,Arbitrary Header Content Routing, SOAP Header Content Routing, Combined With sr/lc/rrLoad Balancing Methods,Configurable First Choice for Persistent Methods, Arbitrary TCP/SSL and UDP Port Load Balancing, FTP Server Load Balancing,DNS Server Load Balancing, ePolicyスクリプトを使用したポリシーのカスタマイズ, vLinkを使用したポリシーのネスティング, DNS Proxy					
L7コンテンツ・ルーティングおよびヘルスチェック・タイプ	WEB (HTTP/HTTPS), DNS, Radius, Diameter, FTP(S), IMAP(S), POP(S), SMTP, Squid Cache, SIP (UDP/TCP), RTSP, Firewall/IDS/IPS, TCP/UDPのポート番号ベース					
ネットワーク	IPv6 Dual Stack, IPv4/V6 NAT, Ethernet link aggregation, VRRP, Static Routing, RIP, OSPF, OSPF RHI, BGP4,VXLAN他					
セキュリティ	Webwall™, Advanced ACL, URL filtering, DDoS Attack Defence, Web Application Firewall,Secure Application Access (SAA)によるアプリケーションアクセス時の認証/認可(SAML, RADIUS, LDAP, OAuth)他					
冗長化	最大32ノードのClustering, Active/StandbyおよびActive/Active構成, コンフィグレーション同期					
リンク負荷分散(LLB)	IP(Src/Dst)/Port/Protocolベースのポリシールーティング, NextHopへのヘルスチェック					
サイト負荷分散(GSLB)	(※)別途ライセンス追加にてサポート: Availability Check, DNS DDoS protection, IP persistence					
SSL関連機能	*X509証明書の生成, 複数の仮想サイトでの証明書共有					
SSL専用ハードウェアモジュールを搭載 AppVelocity-Eを推奨利用	*1024/2048/4096bitの暗号鍵方式 (RSA)					
	*256/384/521bitの暗号鍵方式 (ECC)					
	*SSL方式: SSLv3.0, TLSv1.0, TLSv1.2,TLS1.3					
システム管理	CLI(業界標準コマンド形式), WebUI(英語/日本語/繁体中国語/簡体中国語), SSH, Syslog(TCP/UDP), SNMP(v2/v3), RESTful-API, XML-RPC, SOAP-API, OpenStack LBaaS					
アプリケーション最適化	Memory based Caching, TCP Acceleration, SSLオフロード, SSL Interception (※別売りライセンスが必要), WebAgent (プロキシ), WebSocketおよびWebSocket Secureのハンドリング					
■規格その他への準拠						
国際規格準拠	VCCI, CE, FCC					

<開発元>



アレイ・ネットワークス株式会社

〒210-0004
 神奈川県川崎市川崎区宮本町6-12 GS川崎ビル4階
 TEL: 044-589-8315 FAX: 044-589-8303

Email: Sales-Japan@arraynetworks.net

Website: www.arraynetworks.co.jp

※製品仕様などの最新情報は、弊社Webサイトをご参照下さい

<お問合せ>